

2008 年

9 月 13 日（土曜日） - 丹後の底力を全土に開く -

本日、京都縦貫自動車道の「綾部安国寺ー京丹波わち」間の 7.7km が開通をしました。開通記念式典が谷垣国土交通大臣、山田京都府知事はじめ大勢の関係者の皆様が出席されて、盛大に開催されました。現役世代の関係者の皆様とともに、荒巻前京都府知事、野中元自民党幹事長はじめ本自動車道建設事業の井戸を深く掘っていただいた関係者の皆様もご出席されておりましたが、すべての関係者の皆様に心から感謝を深く申し上げます。

今回の開通により、宮津ー京都間が約 15 分短縮され、当市から京都市中心部まで約 2 時間 15 分で行くことができるようになりました。完全供用まではまだまだこれからのでもあります、府内最北のまちとして事業の前進を心から嬉しく思います。

地方の自立的発展が全国的に求められる中で、地方における民間活動の増進と活性化が欠かせませんが、このためには、都市と地方の基礎的なインフラ格差が顕在化する中で、都市部と公平に競えることを可能とする基盤的な土俵をまずは早期にきちんと整えていただきたいと強く願っております。そしてその基盤としては何と言っても、都市部と短時間で直結・交流できる高速基幹道路の整備・完全供用が第一に大事であります。この点、高速基幹道路は、財や物的繁栄もそうですが、のみならず住民のいろんな安全安心や夢や希望、愛情など、人間活動、社会活動に活力や喜びを導く多くの宝を運んでくれる、なくてはならない架け橋であります。

そして「京都縦貫自動車道」は、当然、京都府の背骨を構成すると同時に、山陰・北陸の環日本海圏と畿内を結ぶ地理的な中心軸となる、いわば現代の日本の縦貫シルクロードです。そして併せて、環日本海軸の「鳥取豊岡宮津自動車道」と「近畿自動車道敦賀線」の両道が完成し互いに結ばれ、山陰・北陸そして東北の環日本海圏が一つながりになれば、これにより、我が国全体の日本海側を貫いて新たな日本の背骨が形成され、アジアへの玄関口となる環日本海地域の魅力と安心が大きくアップすることとなるでしょう。

すなわち、これら 3 道の完成により、アジア、日本海岸地域、京阪神地域が太いパイプでつながることとなり、環日本海圏及び京阪神圏とともに、及んで我が国全体の活力と安心安定の向上にも好影響をしてくると思っていますし、何よりこれら 3 道の結節点となる丹後には京都市域から京阪・名古屋圏、環日本海地域と短時間で直結・交流することがやっとなり、丹後が有する豊かな自然環境、古代歴史資源などの現代的な魅力を求心力に、丹後にも大いなる活力が導かれる基盤となるものと確信しています。

ようやく丹後の底力を再び日本に開いていく時旬の始まりを迎えつつあるんだと喜びが湧き出ますとともに、改めて気を引き締めこの上になす今後努力の大切さを今、心

にかみ締めています。